



## ハードウェア リファレンス ガイド hpワークステーションxw4000

製品番号 : 304923-291

2002年10月

このガイドでは、このコンピュータ シリーズのアップグレードについて説明します。

© 2002 Hewlett-Packard Company  
© 2002 日本ヒューレット・パッカード株式会社

HPおよびHPロゴは、Hewlett-Packard Companyの商標です。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本書の内容は、現状有姿のまま提供されるもので、商品性または特定目的への適合性に関する黙示の保証などを含むいかなる保証も含みません。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品に対する保証は、当該製品に付属の限定的保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Hewlett-Packard Companyの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。

---



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

ハードウェア リファレンス ガイド  
hpワークステーションxw4000  
初版 2002年10月  
製品番号：304923-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

---

# 目次

## 1 ワークステーションの機能

標準構成の機能 .....	1-1
フロント パネルの各部 .....	1-2
リア パネルの各部 .....	1-3
キーボードの各部 .....	1-4
Windowsロゴ キー .....	1-5
イージー アクセス ソフトウェア .....	1-5
マウス .....	1-6
シリアル番号の記載位置 .....	1-7
ミニタワー構成からデスクトップ構成への変更 .....	1-7
デスクトップ構成からミニタワー構成への変更 .....	1-10

## 2 ハードウェアのアップグレード

取り付け手順の概要 .....	2-1
スマート カバー ロック .....	2-2
Smart Cover FailSafeキーの使用 .....	2-2
アクセス パネルの取り外し .....	2-4
フロント パネルの取り外し .....	2-5
ドライブ ベイ カバーの取り外し .....	2-6
増設メモリの取り付け .....	2-7
メモリ モジュールの取り付け .....	2-8
拡張カードの取り付けまたは取り外し .....	2-10
拡張スロット カバーの取り外し .....	2-10
拡張カードの取り外しまたは取り付け .....	2-11
ドライブの位置 .....	2-13
増設ドライブの取り付け .....	2-14
CD-ROM、DVD-ROM、またはその他のリムーバブル メディア ドライブの取り付け .....	2-15
5.25インチ ドライブ ベイへの3.5インチ ドライブの取り付け .....	2-17
3.5インチ ドライブ ベイへのハードディスク ドライブの取り付け .....	2-19
ドライブ ベイからのドライブの取り外し .....	2-21

<b>A 仕様</b>	
システム ボードの各部 .....	A-2
<b>B ハードディスク ドライブの取り付け</b>	
Ultra ATAデバイスのケーブルセレクト機能 .....	B-1
Ultra ATAデバイスの取り付けのガイドライン .....	B-2
SCSIデバイス .....	B-3
SCSIデバイスのガイドライン .....	B-3
別売のSCSIデバイスの取り付けのガイドライン .....	B-5
SCSIコントローラ .....	B-6
SCSIケーブルの使用 .....	B-6
SCSIデバイスと[SCSISelect]の使用 .....	B-7
低騒音ドライブのオプションの選択 .....	B-8
<b>C RTCバッテリーの交換</b>	
<b>D セキュリティ ロック</b>	
セキュリティ ロックの取り付け .....	D-1
<b>E 静電気対策</b>	
静電気による損傷の防止 .....	E-1
アースの方法 .....	E-2
<b>F ワークステーションの手入れと運搬時の注意</b>	
ワークステーションの手入れ .....	F-1
CD-ROMドライブの使用上の注意 .....	F-2
操作および取り扱いに関する注意 .....	F-2
クリーニングの際の注意 .....	F-2
安全にお使いいただくためのご注意 .....	F-2
運搬時の注意 .....	F-3
<b>索引</b>	

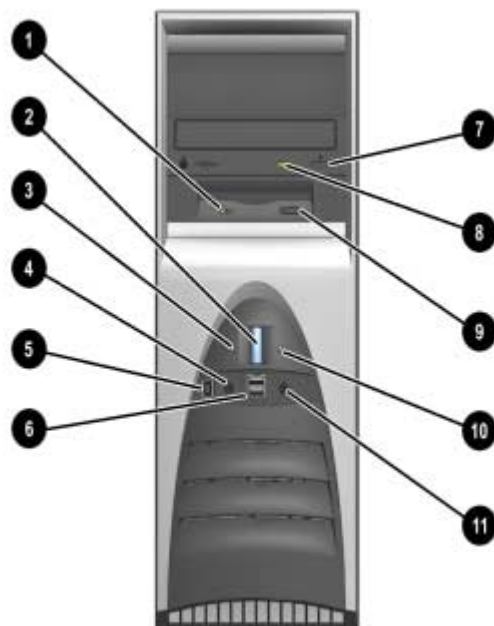
---

## ワークステーションの機能

### 標準構成の機能

HPワークステーションxw4000はミニタワー構成ですが、デスクトップ構成に簡単に変えることができます。コンピュータの機能は、モデルにより異なる場合があります。ご使用のコンピュータのハードウェアおよびソフトウェアの一覧を表示するには、[Diagnostics for Windows]ユーティリティまたはシステム情報の参照（INSPECT）ユーティリティ（一部のモデルで使用可能）を実行してください。これらのユーティリティの使用手順については、Documentation Library CDに収録されている『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。

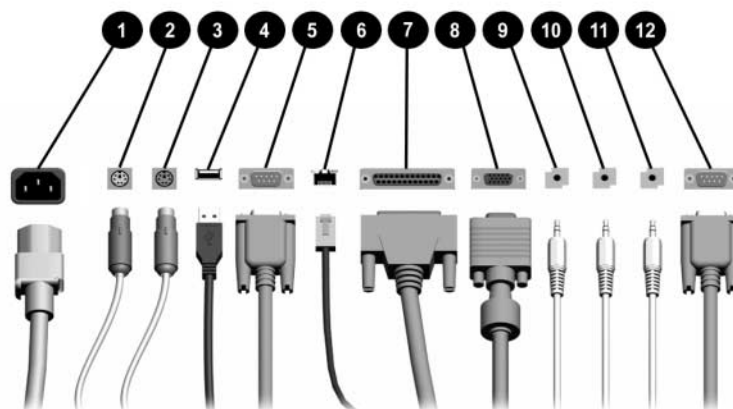
## フロント パネルの各部



①	ディスク ドライブ ランプ	⑦	CD-ROM取り出しボタン
②	デュアルステート電源ボタン	⑧	CD-ROMドライブ インジケータ
③	電源ランプ	⑨	ディスク取り出しボタン
④	ヘッドフォン コネクタ	⑩	ハードディスク ドライブ ランプ
⑤	1394コネクタ (オプション) *	⑪	マイク コネクタ
⑥	USBコネクタ		

\*お使いのワークステーションには1394コネクタが装備されています。このコネクタは、別売の1394 PCI拡張ボードが取り付けられている場合にのみ機能します。

## リア パネルの各部

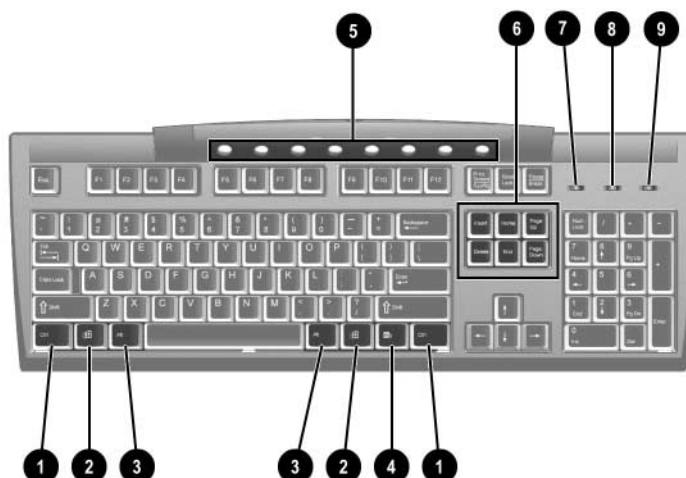


### リア パネルの各部\*


①	電源コード コネクタ	⑦	パラレル コネクタ
②	マウス コネクタ	⑧	モニタ コネクタ
③	キーボード コネクタ	⑨	ヘッドフォン/ラインアウト コネクタ
④	USBコネクタ	⑩	ラインイン オーディオ コネクタ
⑤	シリアル コネクタ (COM1)	⑪	マイク/ラインイン コネクタ
⑥	Ethernet RJ-45 コネクタ	⑫	シリアル コネクタ (COM2)

\*装備されているコネクタの種類や数は、モデルにより異なる場合があります。

## キーボードの各部



### イージー アクセス キーボードの各部

①	[Ctrl]キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、ご使用のアプリケーション ソフトウェアによって異なります
②	Windows® ロゴ キー *	Microsoft® Windowsの[スタート]メニューを表示します。他の機能を実行するために他のキーと組み合わせて使用します（次の項目を参照してください）
③	[Alt]キー	別のキーと組み合わせて使用します。この機能は、ご使用のアプリケーション ソフトウェアによって異なります
④	アプリケーション キー *	マウスの右ボタンと同様にMicrosoft Office アプリケーション内でポップアップメニューを表示するために使用します。また、他のソフトウェア アプリケーションで別の機能を実行することもできます
⑤	イージー アクセス キー	頻繁に使用するWebサイト、アプリケーション、およびサービスにすばやく簡単にアクセスできるようにします
⑥	編集キー	[Insert]、[Home]、[Page Up]、[Delete]、[End]および[Page Down]の各キーがあります  [Delete]キーを押しながら[Ctrl]キーと[Alt]キーを押すと、コンピュータを再起動できます

\*特定の国や地域でのみ使用可能です。



## イージー アクセス キーボードの各部（続き）

⑦	[Num Lock]ランプ	Num Lock機能が有効かどうかを示します
⑧	[Caps Lock]ランプ	Caps Lock機能が有効かどうかを示します
⑨	[Scroll Lock]ランプ	Scroll Lock機能が有効かどうかを示します

## Windowsロゴ キー

Windowsオペレーティング システム内では、Windows キーを他のキーと組み合わせてさまざまな機能を実行することができます。

[Windows]+[F1]	ヘルプ画面を表示します
[Windows]+[Tab]	タスクバーのボタンを切り替えます
[Windows]+[E]	エクスプローラの[マイ コンピュータ]を起動します
[Windows]+[F]	ファイルやフォルダの検索を起動します
[Windows]+[Ctrl]+[F]	ほかのコンピュータの検索を起動します
[Windows]+[M]	開いているすべてのアプリケーションを最小化します
[Shift]+[Windows]+[M]	最小化したすべてのアプリケーションを元に戻します
[Windows]+[R]	[ファイル名を指定して実行]ダイアログ ボックスを表示します

## イージー アクセス ソフトウェア

お使いのイージー アクセス キーボード ボタンの割り当ては、デフォルトに設定されています。お使いのワークステーションにプリインストールされているイージー アクセス ソフトウェアを使用して、イージー アクセス ボタンの割り当てをユーザの使用目的に合わせて変更することができます。各ボタンは、選択した任意のプログラムやサービス、または任意のWebサイト (URL) に合わせて再度割り当てることができます。

## イージー アクセス ボタンの再割り当て

イージー アクセス キーボードのアイコンは、Windowsデスクトップのステータス バーに表示されています。イージー アクセス ボタンの割り当てを変更する手順については、CPQEAUI.hlpファイルを参照してください。

## イージー アクセス ボタンのロックとアンロック

システム管理者は、イージー アクセス ボタンをロックおよびアンロックできます。ロックされた後の各ボタンは、.bcm ファイルを変更することでのみ再割り当てができます。イージー アクセス ボタンの管理に必要な権限については、CPQEAUI.hlp を参照してください。

## イージー アクセス ボタンのアイコン シート

イージー アクセス ボタンのアイコン シートは、各ボタンの割り当てを視覚的に識別するために役立ちます。イージー アクセス ボタンの割り当てを変更した場合は、同時に、テンプレートを利用して変更したボタンの機能を表すアイコンを選択し、アイコン シートも変更しておく と 便利 です。Paper Insert Template.doc ファイルは、初期状態では C:\Program Files\Compaq\Easy Access Button Support にインストールされています。



正しく位置が揃うように、アイコン周囲の余白を調整する必要がある場合があります。

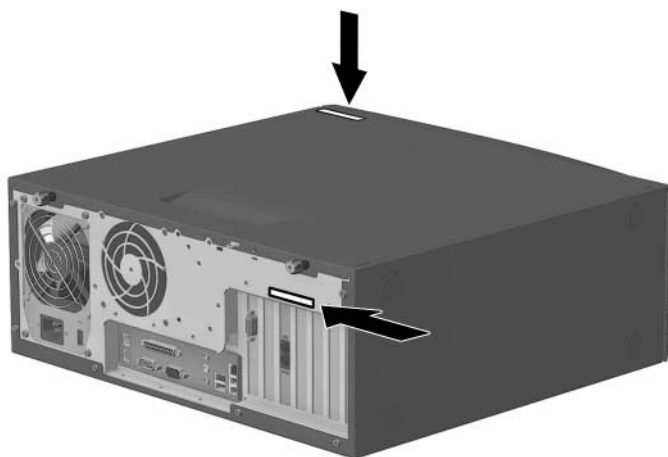
---

## マウス

ほとんどのアプリケーションは、マウスをサポートしていますが、ボタンの機能は、アプリケーションによって異なります。

## シリアル番号の記載位置

各コンピュータには固有のシリアル番号が付いています。このシリアル番号は、アクセス パネルまたは本体の裏側に記載されています。サポート窓口へのお問い合わせの際には、この番号をお手元に用意しておいてください。

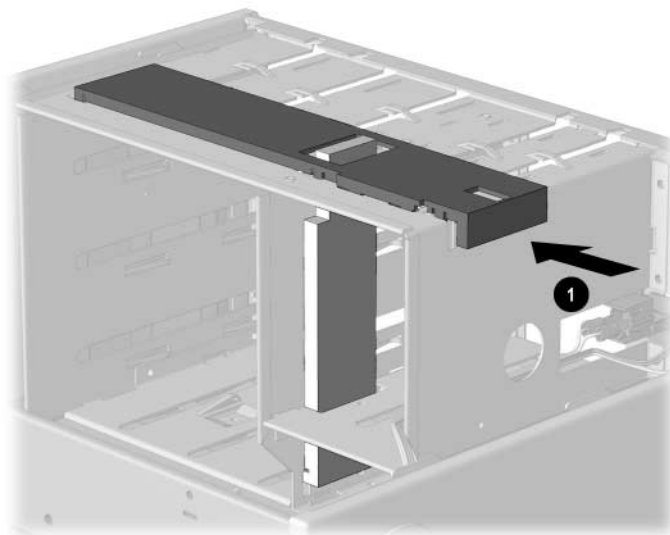


シリアル番号の記載位置

## ミニタワー構成からデスクトップ構成への変更

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
2. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「アクセス パネルの取り外し」を参照してください。
3. フロント パネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「フロント パネルの取り外し」を参照してください。
4. 5.25インチ ドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルやデータ ケーブルをすべて抜き取ります。

5. 5.25インチ ドライブ ベイからドライブを取り外すには、次の図のように、長い方の（緑色の）ドライブロック❶を押します。

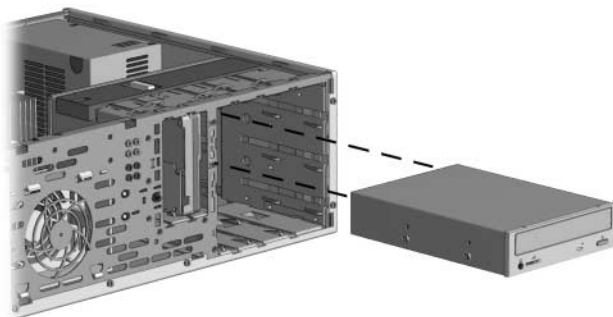


ドライブロックの解除（シャーシの背面から見た場合）

6. ドライブロックを押しながら、ドライブ ベイからドライブを引き出します。
7. ドライブをシャーシに取り付ける前に、取り付けるドライブが内蔵の3.5インチ ドライブに対して垂直になるようにしてください。ドライブの底面が緑のドライブロックと平行になっている必要があります。



デスクトップ構成の場合、ディスケット ドライブは、適切な間隔でシャーシに装着するために、常に最上段のベイに装着してください。



#### デスクトップ構成でのドライブの取り付け

8. ドライブをベイにゆっくりとスライドさせて入れます。ドライブが正しく収まると、ドライブロックによって固定されます。



**注意：**強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

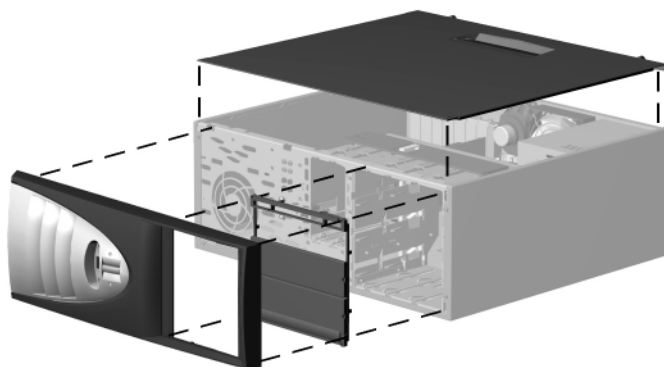
9. すべての電源ケーブルとデータ ケーブルを5.25インチ ドライブ ベイ内のドライブに元どおりに接続します。
10. 第2章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外し、ドライブ ベイ カバーを付けたサブパネルを、デスクトップ構成にしたときに正しい向きになるように取り付けます。

11. サブパネルからロゴプレートを取り外し、デスクトップ構成にしたときに正しい向きになるように回転させてから、サブパネルに再び取り付けます。



**注意：**サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

---



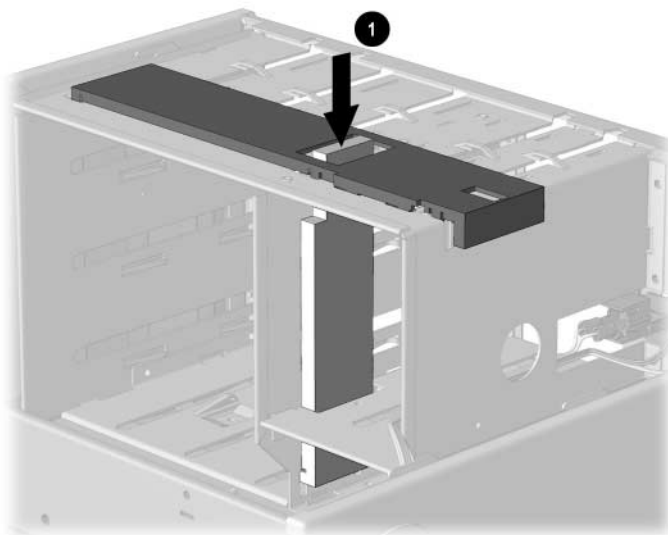
#### ミニタワー構成からデスクトップ構成への変更

12. サブパネル、フロント パネル、およびコンピュータ アクセス パネルを元に戻します。
13. 外付けデバイスを再び接続します。

## デスクトップ構成からミニタワー構成への変更

1. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。ACコンセントから電源コードを抜き、すべての外付けデバイスとの接続を外します。
2. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「アクセス パネルの取り外し」を参照してください。
3. フロント パネルを取り外します。取り外しの手順については、第2章の「フロント パネルの取り外し」を参照してください。

4. 5.25インチのドライブ ベイに装着されているドライブから、電源ケーブルやデータ ケーブルをすべて抜きます。
5. 5.25インチのドライブ ベイからドライブを取り外すには、次の図のように、短い方の（黄色の）ドライブロック①を押します。



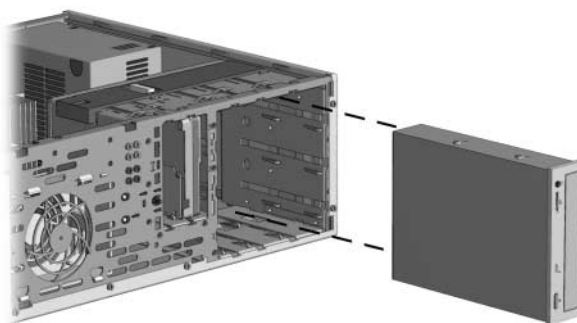
ドライブロックの解除（シャーシの背面から見た場合）

6. ドライブロックを押しながら、ドライブ ベイからドライブを引き出します。

7. ドライブをシャーシに取り付ける前に、取り付けるドライブが内蔵の3.5インチのドライブと同じ向きになるようにしてください。ドライブの底面が黄色のドライブロックと平行になっている必要があります。



ミニタワー構成の場合、ディスク ドライブは、適切な間隔でシャーシに装着するため、内蔵の3.5インチ ドライブに最も近いベイに装着してください。



#### ミニタワー構成でのドライブの取り付け

8. ドライブをベイにゆっくりとスライドさせて入れます。ドライブが正しく収まると、ドライブロックによって固定されます。



**注意：**強く力を加えすぎると、ドライブが破損することがあります。

9. すべての電源ケーブルとデータ ケーブルを5.25インチ ドライブ ベイ内のドライブに元どおりに接続します。

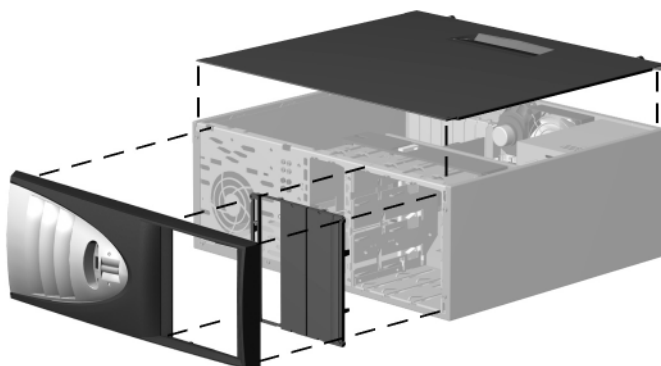


10. 第2章の「ドライブベイ カバーの取り外し」の手順に従ってサブパネルを取り外し、ドライブ ベイ カバーを付けたサブパネルを、ミニタワー構成にしたときに正しい向きになるように取り付けます。



**注意:** サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

11. サブパネルからロゴプレートを取り外し、ミニタワー構成にしたときに正しい向きになるように回転させてから、サブパネルに再び取り付けます。



#### デスクトップ構成からミニタワー構成への変更

12. サブパネル、フロント パネル、およびコンピュータ アクセス パネルを元に戻します。
13. 外付けデバイスを再び接続します。

---

## ハードウェアのアップグレード

### 取り付け手順の概要

どのオプションのデバイスを取り付ける際にも、この手順どおりに行うようにしてください。

1. ご購入のコンピュータにスマート カバー ロック (Smart Cover Lock) 機能があり、ロックを設定した場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを解除し、スマート カバー センサを無効にしてください。

コンピュータ セットアップ ユーティリティについて詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

2. コンピュータにすでに電源が入っている場合は電源を切り、電源コードをACコンセントから抜きます。



**警告：**感電や火傷の危険がありますので、電源コードがACコンセントから抜き取ってあること、本体内部の温度が下がっていることを確認してください。

---



**警告：**感電や火災が発生したり、装置を損傷する場合がありますので、電話回線のモジュラー ジャックを本体のリア パネルのネットワーク コネクタ (NIC) に接続しないでください。

---



**注意：**静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「付録E 静電気対策」を参照してください。

---

3. 外側のカバーを外し、コンピュータ内部が見えるようにします。取り外しの手順について詳しくは、「アクセス パネルの取り外し」を参照してください。
4. 任意のオプションのデバイスを取り付けます。取り付ける手順については、このガイドの該当する部分、またはデバイスに付属のドキュメントを参照してください。
5. コンピュータのカバーを元に戻します。
6. モニタ、コンピュータ、およびテストするデバイスの電源を入れます。
7. 必要な場合は、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。コンピュータ セットアップ ユーティリティの使用法について詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。
8. スマート カバー ロックを通常どおりにロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

## スマート カバー ロック



---

スマート カバー ロックは、一部のモデルにのみ含まれるオプションの機能です。

---

スマート カバー ロックはソフトウェアで制御可能なカバー ロックであり、セットアップパスワードによって制御されます。このロックによって、承認されていないユーザによるコンピュータ内部のコンポーネントへの不正なアクセスを防ぐことができます。コンピュータは、スマート カバー ロックがロックされていない状態で出荷されます。スマート カバー ロックをロックする方法については、『デスクトップ マネジメントについて』を参照してください。

## Smart Cover FailSafeキーの使用

スマート カバー ロックを使ってコンピュータをロックしたまま、パスワードを入力できなくなってしまった場合、Smart Cover FailSafeキーを使用して、コンピュータ本体のカバーを開ける必要があります。Smart Cover FailSafe キーが必要となるのは、次のような場合です。

- 停電
- 起動障害
- PC部品（プロセッサや電源など）障害
- パスワードを忘れてしまった場合

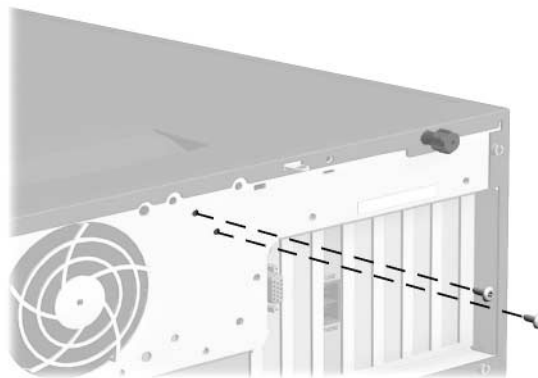


**注意：** Smart Cover FailSafeキーは、HPが提供する専用ツールです。このキーが必要になる前に、あらかじめご用意なさることをお勧めします。

FailSafeキーの入手については、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

アクセス パネルを開くには、次の手順に従います。

1. コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
2. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
3. Smart Cover FailSafeキーを使用して、スマート カバー ロックをシャースに固定している2本の不正防止ネジを外します。



スマート カバー ロックのネジの取り外し

4. アクセス パネルを取り外します。

スマート カバー ロックを再び装着する場合は、不正防止ネジでロックを所定の位置に固定します。

## アクセス パネルの取り外し

アクセス パネルを取り外す前に、コンピュータが安定するように、広い面を下にしてコンピュータを横置きにしてください。

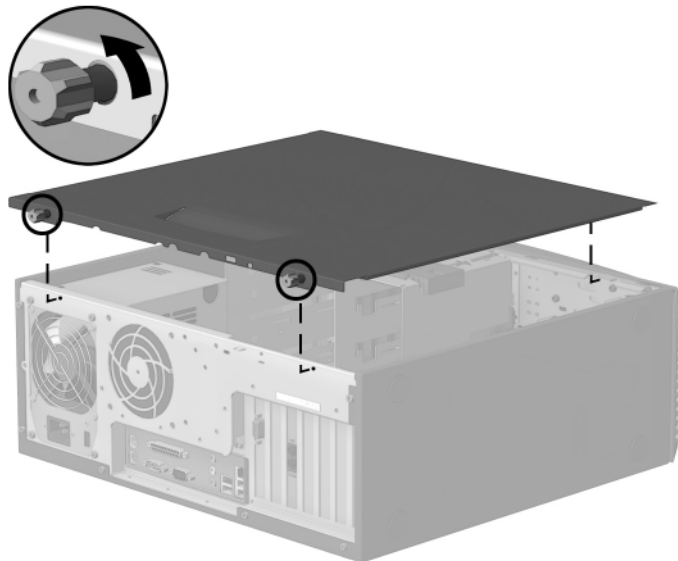
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、スマート カバー ロックについての前の項目を参照してください。または、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。



**注意：**コンピュータのアクセス パネルを取り外す前に、コンピュータの電源が切れ、電源コードがACコンセントから抜かれていることを確認してください。アクセス パネルをコンピュータのシャーシに固定している2本のネジを緩めます。

---

4. アクセス パネルを後方へ約2.5cmスライドさせてから持ち上げて、シャーシから外します。

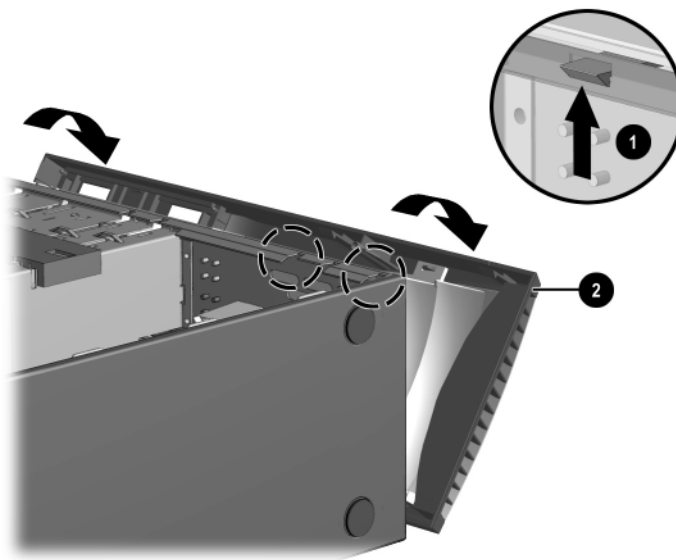


コンピュータのアクセス パネルの取り外し

アクセス パネルを再び取り付ける場合は、上記の手順1から4までを逆の順序で実行します。

## フロント パネルの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。コンピュータのアクセス パネルを取り外します。
3. 2つのリリース タブ①を押し上げ、下図のようにフロント パネルの反対側の辺を軸にして回してシャーシから取り外します②。



フロント パネルの取り外し



フロント パネルを元のとおりにシャーシに取り付けるときは、必ず最初にヒンジを正しい位置に合わせてから取り付けるようにしてください。

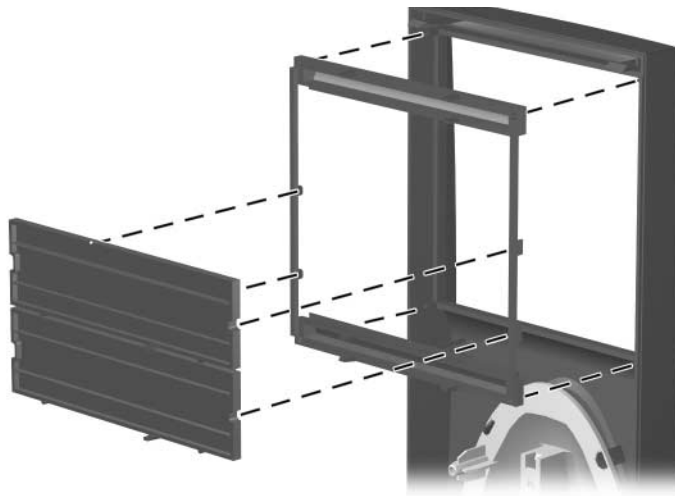
## ドライブ ベイ カバーの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
3. コンピュータのアクセス パネルを取り外します。次に、フロント パネルを取り外します。
4. ドライブ ベイ カバーが中に固定されているサブパネルをフロント パネルから慎重に引き出し、目的のドライブ ベイ カバーを取り外します。



**注意:** サブパネルは、まっすぐな状態を保ったままフロント パネルから取り外してください。サブパネルを引き出すときに傾けてしまうと、サブパネルをフロント パネルに取り付けるためのピンが破損することがあります。

---



サブパネルからのドライブ ベイ カバーの取り外し



サブパネルを元に戻す際には、位置合わせのピンと残りのドライブ ベイ カバーが適切な方向になっていることを確認してください。

---

## 増設メモリの取り付け

お使いのコンピュータは、ダブルデータ レート (DDR) DIMMを装備しています。

Intel 845 チップセット ベースのシステム ボード上にあるメモリ ソケットには、業界標準のDDR DIMMを取り付けることができます。これらのメモリ モジュールのスロットには、少なくとも1つのメモリ モジュールが標準装備されています。最大容量のメモリ構成にするには、この標準装備のDIMMをより大きな容量のDIMMと交換しなければならない場合があります。

システムを正常に動作させるためには、HPのオプションのメモリを使用してください。DDR DIMMは、CASレイテンシが2または2.5 (CL=2またはCL=2.5) の動作をサポートしなければなりません。さらに、JEDECのSPD情報も含まれている必要があります。また、×16構成 (ダブル サイド) および×4構成のDIMMはサポートされません。サポートされないDIMMを使用するとシステムは起動しません。1GBのメモリ モジュールを2つ使用して、最大2GBまでサポートします。



## メモリ モジュールの取り付け

---



**注意：**お使いのメモリ モジュール ソケットの接点には、金メッキが施されています。メモリをアップグレードする際に、接点の金属が異なるときに生じる酸化や腐食を防ぐため、メモリ モジュールは金メッキのものを使用してください。

---



**注意：**静電気の放電により、コンピュータやオプションのカードが破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。詳しくは、「付録E 静電気対策」を参照してください。

---



**注意：**モジュールの破損を防止するため、DIMMモジュールを取り扱う際は、金属製の接点に触れないでください。

---

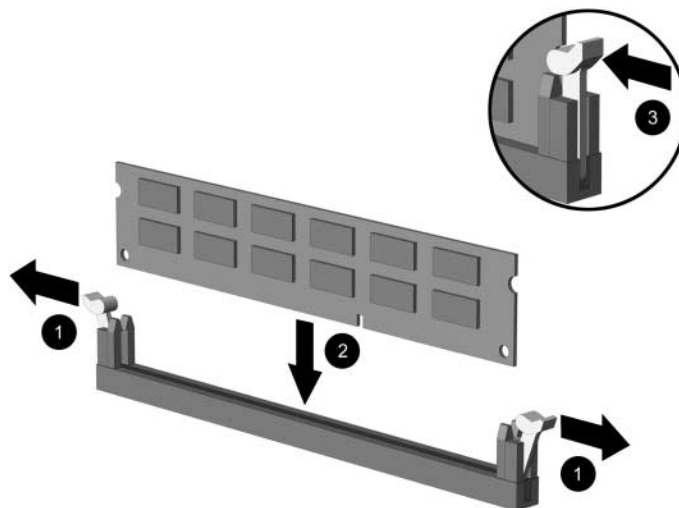
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
  2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。次に、電源コードをACコンセントから抜きます。
  3. アクセス パネルを外し、メモリ モジュール ソケットの位置を確認します。
- 



**警告：**火傷の危険がありますので、必ず、本体内部の温度が十分に下がっていることを確認してから、次の手順に進んでください。

---

4. メモリ モジュール ソケットの両方のラッチ①を開き、メモリ モジュールをソケットに差し込みます②。



## DIMMの取り付け

5. 取り付け済みのモジュールに最も近いソケットからモジュールの差し込みを始めて、ソケットの番号順にモジュールを取り付けていきます。
6. メモリ モジュールは、一方向にのみ取り付け可能です。モジュールのノッチ（切れ目）をメモリ ソケットのタブに合わせます。モジュールをソケットに押し入れ、モジュールが完全に挿入されて正しく収まっていることを確認し、ラッチを固定します③。
7. 複数のモジュールを取り付ける場合は、手順4から6までを繰り返します。
8. アクセス パネルを元に戻します。
9. スマート カバー ロックを通常どおりにロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

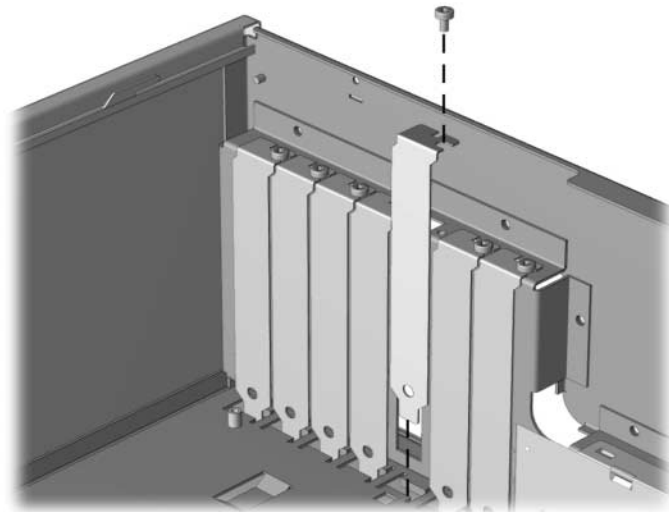
次回コンピュータの電源を入れたときに、増設メモリは自動的に認識されます。

## 拡張カードの取り付けまたは取り外し

お使いのコンピュータには、コンポーネントをアップグレードしたり追加したりする場合に使用できる拡張スロットが装備されています。

### 拡張スロット カバーの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。
3. 電源コードをACコンセントから抜き、すべての外付けデバイスを取り外します。
4. コンピュータのアクセス パネルを外し、コンピュータ シャーシ内で適切な空のスロットの位置を確認します。
5. スロット カバーを固定しているネジを外して、図のように、拡張スロット カバーをスロットから外します。

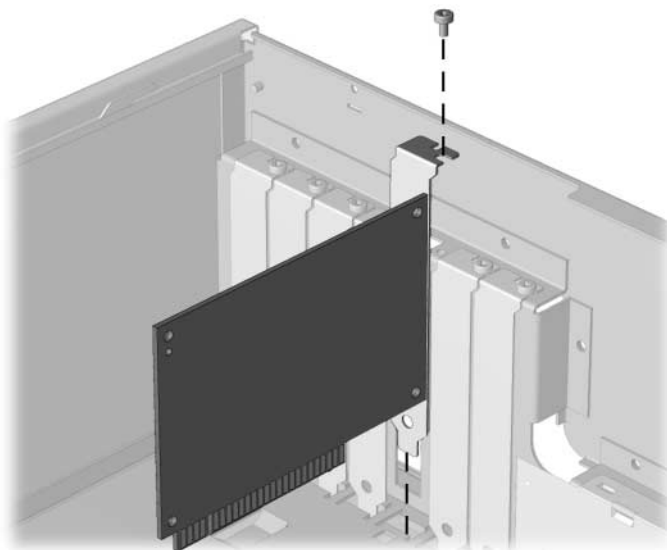


ネジおよび拡張スロット カバーの取り外し

## 拡張カードの取り外しまたは取り付け

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切って、電源コードをACコンセントから抜き取ります。
3. コンピュータのアクセス パネルを外します。
  - ☐ 拡張カードを取り付ける場合は、手順9に進みます。
  - ☐ 拡張カードを取り外す場合は、手順4に進みます。
4. 拡張カードに接続されているすべてのケーブルを取り外します。
5. 拡張スロットの側面のネジを外します。
6. カードの両端をつかみ、コネクタがスロットから抜けるまで、カードを前後に軽く揺さぶります。このとき、カードが他のコンポーネントと接触して傷が付かないようにしてください。
7. カードを静電気の影響を受けない容器に保管します。
8. 空いたスロットを埋めるために、拡張スロット カバーまたは新しい拡張カードを取り付けます。
  - ☐ 新しい拡張カードを取り付けない場合は、手順13に進みます。
  - ☐ 拡張カードを取り外したスロットとは別のスロットにカードを取り付ける場合は、手順9に進みます。
  - ☐ 拡張カードを取り外したスロットに別のカードを取り付ける場合は、手順10に進みます。
9. 新しい拡張カードを空いたスロットに取り付けるために、拡張スロットカバーを取り外します。

10. 拡張カードを拡張スロットに入れ、しっかりと固定されるように押し込みます。



---

拡張カードの取り外しまたは取り付け

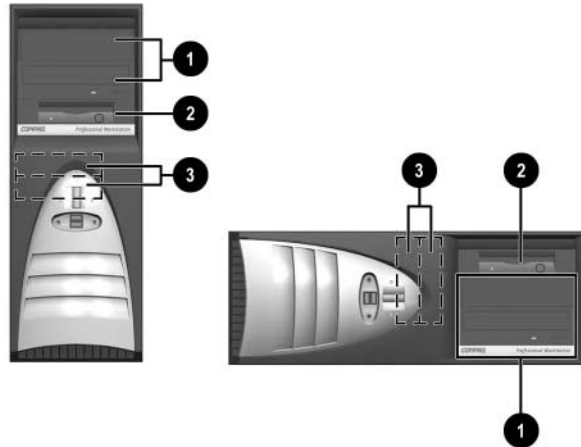


拡張カードを取り付ける際には、カードのコネクタ全体が拡張カードスロットに正しく固定されるように、カードをしっかりと押し込んでください。

---

11. 拡張カードスロットの側面のネジを元どおりに締めます。
12. 必要に応じて、取り付けたカードに外部ケーブルを接続します。また、必要に応じて、内部ケーブルをシステムボードに接続します。
13. コンピュータのアクセスパネルを元に戻します。
14. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。

## ドライブの位置



デスクトップ構成およびミニタワー構成のドライブの位置

- ① 5.25 インチ、1/2 ハイト リムーバブル メディア用ベイ× 2 :  
オプションのドライブ用 (ドライブ ベイ番号 1、2)
- ② 5.25 インチ、1/3 ハイト リムーバブル メディア用ベイ× 1 :  
3.5 インチ、1.44MB ディスケット ドライブ用 (ドライブ アダプタに  
より装着) (ドライブ ベイ番号 3)
- ③ 3.5 インチ、1/3 ハイト ベイ× 2 :  
内蔵ハードディスク ドライブ用 (ドライブ ベイ番号 4、5)

お使いのコンピュータに取り付け済みの記憶装置の種類や容量を調べるには、コンピュータセットアップユーティリティを実行します。詳しくは、『コンピュータセットアップ (F10) ユーティリティガイド』を参照してください。



ドライブ ベイ番号は、フロント パネルの裏側に位置するシャーンに示されています。

## 増設ドライブの取り付け

お使いのコンピュータには、さまざまな構成で最大5台のドライブを取り付けることができます。

ドライブを増設するには、以下のガイドラインに従ってください。

- 最適のパフォーマンスを得るため、IDEハードディスク ドライブを増設する場合はプライマリ IDE コントローラに接続します。CD-ROM、IDE テープ、ディスケット ドライブなどの拡張デバイスは、80芯ATAケーブルを使用して、セカンダリ コントローラに接続します。
- 1/2ハイト ベイには、1/3ハイトまたは1/2ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
- ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用のネジを取り付ける必要があります。予備のガイド用ネジがワークステーションのフロント パネルの裏に付属しています。オプション ドライブによっては、黒いメートル式のネジ(ミリネジ)を使用するものがあります。



**注意：**データの損失やコンピュータまたはドライブの破損を防ぐために、次の点に注意してください。

- ハードディスク ドライブを取り付ける場合や取り外す場合は、必ず、すべてのアプリケーションおよびオペレーティングシステムを終了し、コンピュータの電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入っている場合またはスタンバイ モードになっている場合は、絶対にハードディスク ドライブを取り外さないでください。
- ドライブを取り扱う前に、身体にたまった静電気を放電してください。ドライブを持つ際は、コネクタに手を触れないようにしてください。静電気対策について詳しくは、「付録E 静電気対策」を参照してください。
- ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落とさないでください。
- ドライブを挿入するときは、無理な力を加えないでください。
- ハードディスク ドライブは、液体や高温にさらさないようにしてください。また、モニタやスピーカなどの磁気を発生する装置から遠ざけてください。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、エア パックなどの緩衝材で包み、しっかりと梱包して、「こわれもの—取り扱い注意」などのラベルを梱包箱の表面に貼るか明記してください。

## CD-ROM、DVD-ROM、またはその他のリムーバブルメディアドライブの取り付け

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き取り、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. ドライブの両側にそれぞれ2本ずつガイド用ネジ<sup>①</sup>を取り付けます。

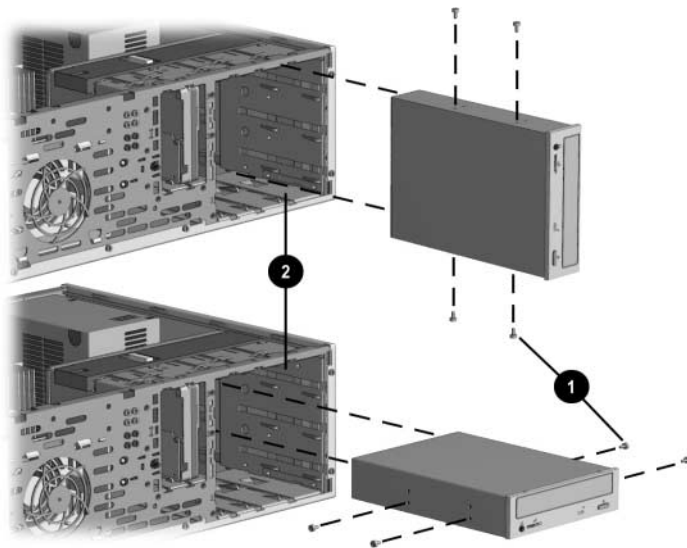


オプション ドライブによっては、黒いメートル式ネジ（ミリネジ）を使用するものがあります。予備のガイド用ネジがワークステーションのフロントパネルの裏に付属しています。

4. ドライブをドライブ ケージ<sup>②</sup>の前面に滑り込ませて、ドライブ ベイに取り付けます。ドライブが所定の位置に収まると、ドライブロック機能によって自動的に固定されます。



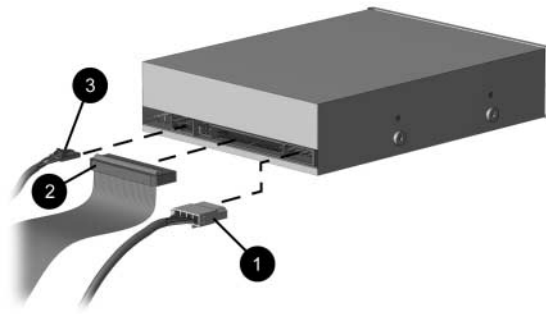
ドライブ ケージ内でガイド用ネジがガイド用スロットとかみ合っていることを確認します。



ガイド用ネジの位置合わせおよびオプションの5.25インチ ドライブの取り付け  
ミニタワー構成（上図）およびデスクトップ構成（下図）



5. ドライブの電源ケーブル①と信号ケーブル②をドライブに接続します。ドライブがCD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブの場合にデジタルでなくアナログ オーディオを使用するには、オーディオ ケーブル③も接続します。オーディオ ケーブルのもう一方の端は、システム ボード上のオーディオ コネクタに接続します。

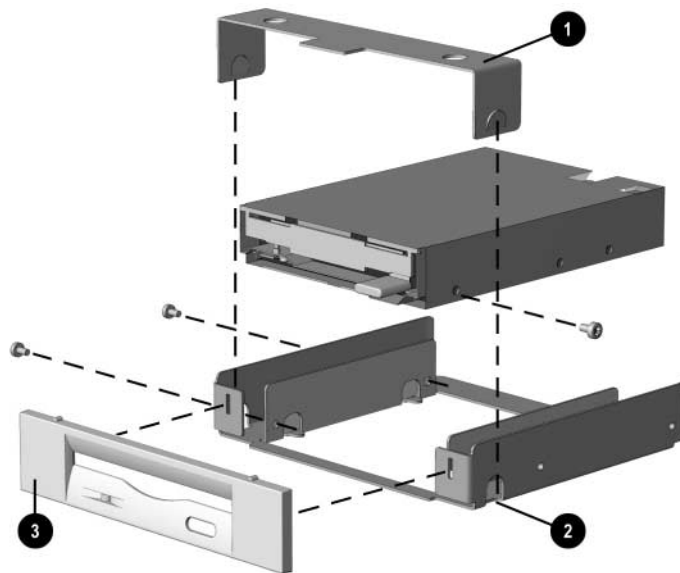


ドライブ ケーブルの接続

6. フロント パネルの内側のサブパネルから適切なドライブ ベイ カバーを外します。手順について詳しくは、この章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」を参照してください。
7. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
8. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第1章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

## 5.25インチ ドライブ ベイへの3.5インチ ドライブの取り付け

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き取り、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを外します。
4. ドライブの右側に1本のガイド用ネジを取り付けます。
5. ガイド用ネジの位置がスロットにかみ合うようにドライブをアダプタ②内に入れ、2本の固定用ネジでアダプタに留めます。
6. 留め具①をはめ合わせ、ドライブ ベイ カバー③をアダプタの前面に装着します。



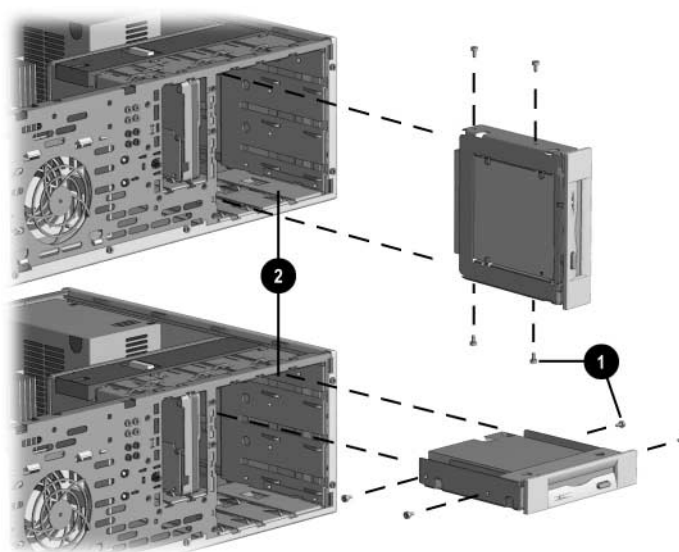
5.25インチ アダプタへの3.5インチ ドライブの装着

7. アダプタの両側①にそれぞれ2本ずつガイド用ネジを取り付けます。
8. アダプタをドライブ ケージの前面に滑り込ませて、ドライブ ベイ②に取り付けます。アダプタが所定の位置に収まると、ドライブロック機能により自動的に固定されます。



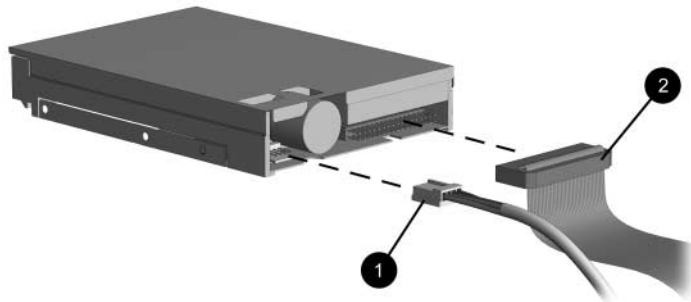
プライマリ3.5インチ ディスク ドライブは、ベイ3にしか取り付けられません。デスクトップ構成の場合、ベイ3は一番上のベイです。

---



ガイド用ネジの位置合わせおよびアダプタに装着した3.5インチ ドライブの取り付け  
ミニタワー構成（上図）およびデスクトップ構成（下図）

9. ドライブに電源ケーブル①と信号ケーブル②を接続します。



ドライブ ケーブルの接続

10. フロント パネルの内側のサブパネルから適切なドライブ ベイ カバーを外します。手順について詳しくは、この章の「ドライブ ベイ カバーの取り外し」を参照してください。
11. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
12. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第1章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

### 3.5インチ ドライブ ベイへのハードディスク ドライブの取り付け

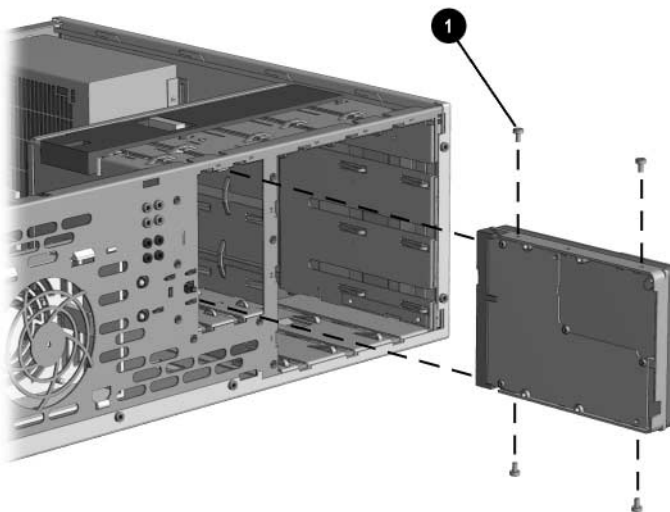


同じシステム内にIDEハードディスク ドライブとSCSIハードディスク ドライブを混在させないでください。ドライブ ベイ4または5のハードディスク ドライブを交換する場合は、同じ種類のものにする必要があります。

以下の手順で、3.5インチ ドライブ ベイにハードディスク ドライブを取り付けます。

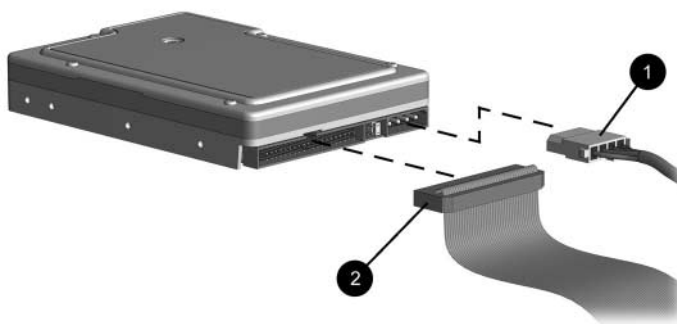
1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き取り、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを取り外します。

4. ドライブの両側にそれぞれ2本ずつガイド用ネジ①を取り付けます。
5. 次の図を参考にして、ハードディスク ドライブを3.5インチ ベイに取り付けます。



ハードディスク ドライブ ベイへのハードディスク ドライブの取り付け

6. 電源ケーブル①と信号ケーブル②をハードディスク ドライブに接続します。

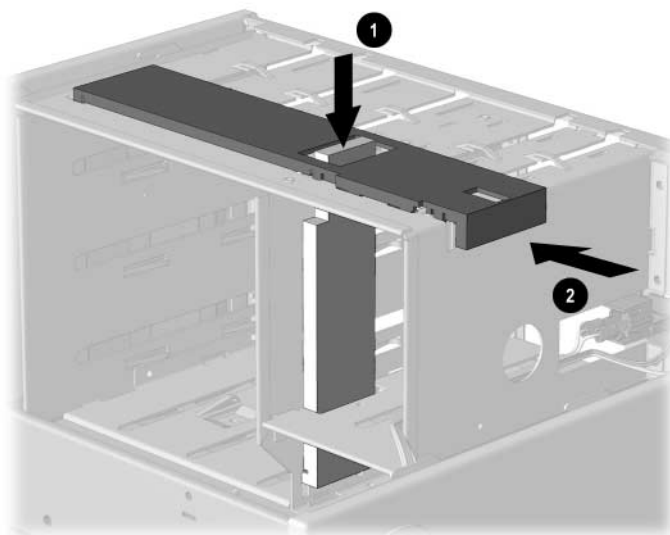


電源ケーブルと信号ケーブルの接続

7. ケーブルのもう一方の端をシステム ボードの適切なコネクタに接続します。
8. コンピュータのアクセス パネルを元に戻します。
9. 必要に応じて、コンピュータを再度コンフィギュレーションします。詳しくは、第1章の「取り付け手順の概要」を参照してください。

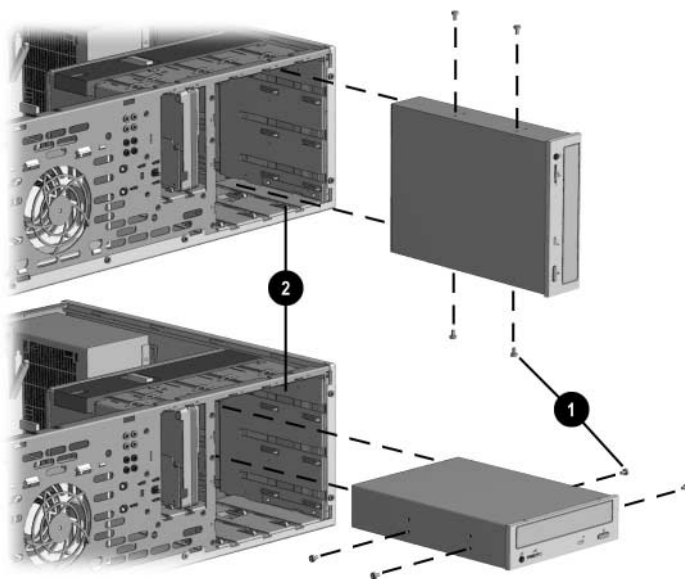
## ドライブ ベイからのドライブの取り外し

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップユーティリティを使用してロックを外します。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータの電源を切ります。電源コードをACコンセントから抜き、コンピュータのアクセス パネルを外します。
3. フロント パネルを外します。
4. ドライブの電源ケーブルと信号ケーブルを外します。CD-ROMドライブまたはDVD-ROMドライブの場合は、オーディオ コネクタも外します。
5. ドライブロック (❶または❷) を押して、ドライブ ベイ内のドライブのロックを外します。



デスクトップ構成で5.25インチのドライブを固定するドライブロック❶および  
ミニタワー構成ですべてのドライブを固定するドライブロック❷  
(シャーン背面からの図)

6. ドライブロックを押しながら、ドライブをドライブ ベイから引き出します。



#### 5.25ドライブ ベイからのドライブの取り外し

7. ドライブ ベイからドライブを取り外し、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

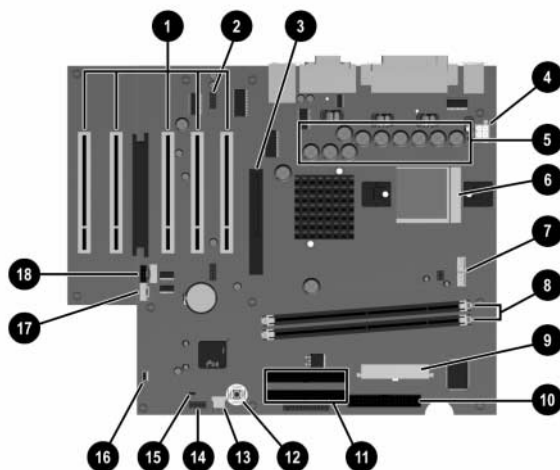
## hpワークステーションxw4000

寸法		
高さ	44.8 cm	
幅	16.8 cm	
奥行き	44.7 cm	
重量（概算）	12.0 kg	
最大荷重	45.5 kg	
温度範囲		
動作時	10～35℃	
非動作時	-20～60℃	
相対湿度（結露せず）		
動作時	8～90%	
非動作時	5～95%	
動作保証高度（非圧縮）		
動作時	3048 m	
非動作時	9144 m	
電源		
動作電圧	90～264 VAC	90～264 VAC
定格電圧範囲*	100～240 VAC	100～240 VAC
周波数	47～63 Hz	47～63 Hz
電源出力	250 W	250 W
定格入力電源（最大）*	1.8 A (200 VACの場合)	3.6 A (100 VACの場合)
放熱効率		
最大	331 kg-cal/時	1314 BTU/時
最小	165 kg-cal/時	657 BTU/時

\*このシステムは、全世界をカバーする電圧自動補正電源を採用しています。したがって、入力電圧の選択スイッチはありません。



## システム ボードの各部



システム ボードの各部

①	PCIソケット	⑩	ディスケット ドライブ コネクタ
②	ヘッドフォン/マイク コネクタ	⑪	Ultra ATAコネクタ
③	AGPグラフィック ソケット	⑫	CMOSリセット ボタン
④	プロセッサ電源コネクタ	⑬	スマート カバー センサ
⑤	内蔵電圧調整モジュール (VRM)	⑭	前面USBコネクタ
⑥	プロセッサ ソケット	⑮	パスワード有効化ジャンパ
⑦	システム ファン コネクタ	⑯	内蔵スピーカ コネクタ
⑧	DIMMソケット	⑰	補助オーディオ コネクタ
⑨	電源コネクタ	⑱	CD-ROMオーディオ コネクタ

---

## ハードディスク ドライブの取り付け

### Ultra ATAデバイスのケーブル セレクト機能

別売のドライブは、オプション キットとしてHPから提供しています。このキットには、特殊なドライブ ケーブルも含まれています。ドライブのコンフィギュレーションには、ドライブをデバイス0（プライマリ ドライブ）またはデバイス1（セカンダリ ドライブ）として識別するケーブル選択機能が採用されています。

デバイス1は、ケーブルの中央コネクタに接続されたデバイスです。デバイス0は、ケーブルの端にあるコネクタに接続されたデバイスです（80芯ATAケーブルにのみ適用されます）。Ultra ATAケーブルの使用例については、この付録の「Ultra ATAデバイスの取り付けのガイドライン」を参照してください。

HPのハードディスク ドライブは、あらかじめジャンパがケーブルセレクトモードに設定されています。そのため、既存のドライブまたはオプションのドライブでは、ジャンパの設定を変更する必要はありません。他社製のハードディスク ドライブを購入した場合は、キットに付属のマニュアルを参照して、ケーブルの取り付け/設定を正しく行ってください。



プライマリ コントローラにセカンダリ ドライブを増設する場合は、ハードウェアの性能を活かすため、別売の80芯Ultra ATAケーブルを使用してください（モデルによってはこのケーブルが付属しています）。

---

## Ultra ATAデバイスの取り付けのガイドライン

Ultra ATAドライブを増設するときには、以下のガイドラインに従ってください。

- 複数のUltra ATAデバイスを取り付ける場合は、ハードウェアの性能を活かすために、プライマリUltra ATAチャンネルとセカンダリUltra ATAチャンネルにデバイスを分散させます。増設用Ultra ATAケーブルを使用して、増設デバイスをシステム ボードに接続します。
- 80芯Ultra ATAケーブルには次のような特徴があります。
  - 最長18インチで、デバイス0とデバイス1の間に最大6インチの間隔がとれる80芯のケーブル



80芯Ultra ATAケーブル

- ① デバイス0（プライマリ ドライブ）のコネクタ
  - ② デバイス1（セカンダリ ドライブ）のコネクタ
  - ③ システム ボード コネクタ
- ハードウェアの性能を活かすために、ハードディスク ドライブは、プライマリ コントローラに接続します。ATA CD-ROMおよびDVD-ROMドライブなどの拡張デバイスは、セカンダリ コントローラに接続してください。
  - 1/2ハイト ベイには、1/3ハイトまたは1/2ハイトのどちらのドライブも取り付けることができます。
  - ドライブをドライブ ケージの正しい位置で支えるために、ガイド用ネジを取り付けます。予備のガイド用ネジがワークステーションのフロントパネルの裏に付属しています。オプション ドライブによっては、黒いメートル式ネジ（ミリネジ）を使用するものがあります。
  - ケーブルにデバイスを1つだけ接続する場合は、終端（デバイス0）のコネクタにつなげます。

## SCSIデバイス

この項では、SCSIデバイスのガイドラインおよび取り付けについて説明します。

### SCSIデバイスのガイドライン

SCSIデバイスを取り付けて動作させる場合は、必ず以下のガイドラインに従ってください。

- 1枚のUltra SCSIコントローラで、チャンネルごとに最大7台のSCSIデバイスをサポートできます。
- 搭載されているWide-Ultra SCSI、Ultra-Wide SCSI、Wide Ultra2 SCSI、Ultra 320 SCSI、または160 SCSIコントローラで、チャンネルごとに15台までのSCSIデバイスをサポートします。
- 複数のSCSIデバイスを取り付ける場合は、ハードウェアの性能を活かすために、利用できる場合は、チャンネルAとチャンネルBにデバイスを分散させることをお勧めします。
- 次のSCSIケーブルのご使用をお勧めします。
  - 最長53インチのツイストペア線、ターミネータ付きのLVDケーブル、各ドライブの間隔が最短5.25インチで最大5台のドライブが接続できるもの
- SCSIコントローラが正常に動作するには、取り付けられた各SCSIデバイスに固有のSCSI ID（0から7または8から15）が割り当てられる必要があります。SCSIコントローラは、デバイスが取り付けられている位置ではなくSCSI ID番号からSCSIデバイスを識別するので、SCSIデバイスをSCSIチェーンのある位置から別の位置へ移しても、SCSIコントローラとSCSIデバイス間の通信には影響ありません。予約されているSCSI ID番号と利用できるSCSI ID番号は次のとおりです。
  - 0：プライマリ ハードディスク ドライブに予約されています。
  - 7：コントローラに予約されています。
  - 1から6と8から15：その他のSCSIデバイスで利用できます。

- SCSIチェーンは両端でターミネート（終端）してください。次のいずれかの方法でターミネート（終端）できます。
  - ターミネータ内蔵ケーブルを使用する（このケーブルは、お使いのコンピュータに付属しています）
  - 最後のコネクタにターミネート用の抵抗器を付けたケーブルを使用する
  - ターミネート機能を有効にした SCSI デバイスを最後のコネクタに接続する
  - ターミネート機能を有効にした外部SCSIデバイスを、コンピュータのリア パネルにある外部SCSIコネクタに接続する
- コンピュータの電源を入れる前にすべての外部 SCSI デバイスの電源を入れておく必要があります。これによりSCSIコントローラが外部デバイスを認識します。
- お使いのシステムでは、内蔵型のSCSIデバイスと、ハードディスク ドライブ、テープ ドライブ、CD-ROMドライブなどの外付けSCSIデバイスを組み合わせて使用できます。
- 同じSCSIチェーンまたは同じSCSIチャネルでビット幅の異なる SCSI デバイスを混在させることはお勧めできません。同じチェーンまたはチャネルでビット幅の異なるデバイスを混在させると、そのチェーン内のデータ転送速度は、最も遅いデバイスのデータ転送速度になります。同一チャネルにWide-Ultra2、Ultra 160、およびUltra 320デバイスを混在させることはできますが、Narrowデバイス以外のデバイスとNarrowデバイスは同一チャネルに混在させないでください。

オプションのSCSIデバイスについて詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。



**注意:** 電源装置への通気が妨げられ、過熱状態になることを防ぐために、ケーブルは、電源装置の通気孔付近に配線しないでください。

---

## 別売のSCSIデバイスの取り付けのガイドライン



同じシステムにUltra ATAハードディスク ドライブとSCSIハードディスク ドライブを混在させると、Ultra ATAドライブが起動ドライブになります。起動順序を変更するには、セットアップ ユーティリティで[F10]キーを押してください。

ハードディスク ドライブを交換する場合は、必ず交換用ドライブに、取り外すドライブと同じ種類のドライブを使用してください。Ultra ATAハードディスク ドライブをSCSIハードディスク ドライブと交換する場合は、マルチモードのLVD（低電圧ディファレンシャル）SCSIケーブル オプション キットが必要です。

SCSIハードディスク ドライブを1台だけ使用する場合は、ベイが4つ以上あるコンピュータではベイ4に取り付ける必要があります。

SCSIデバイスを取り付ける前に、以下の手順を実行してください。

- ドライブのSCSI IDを確認し、必要に応じて、SCSI IDを固有の番号に設定します。この付録の「SCSIデバイスのガイドライン」、またはデバイスに付属のマニュアルを参照してください。
- デバイスのターミネート機能を有効にするか無効にするかを確認します。必要に応じてターミネート機能を設定します。この付録の「SCSIケーブルの使用」、またはデバイスに付属のマニュアルを参照してください。



デバイスによっては、終端用コネクタが付いていない場合があります。このようなデバイスをターミネートさせるには、終端用ケーブルが必要です。

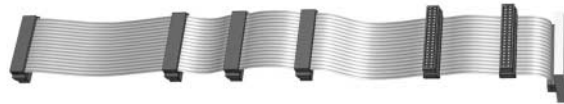
コンピュータの電源を入れる前に、外部SCSIデバイスの電源を入れてください。システム ボード コントローラが外部SCSIデバイスを認識し、自動的にリセットされます。外部SCSIデバイスがコンピュータ背面の外部SCSIコネクタに接続されている場合は、そのデバイスがSCSIチェーンの終端になるので、必ずターミネートさせる必要があります。

## SCSIコントローラ

一部のモデルには、システム ボード上に内部コネクタ付きの、内蔵型単一チャネルUltra 160 SCSIコントローラが付属しています。

## SCSIケーブルの使用

モデルによっては、LVD（低電圧ディファレンシャル）またはシングルエンド デバイスをサポートするマルチ モードSCSIケーブルが付属しています。このケーブルは、正面のドライブ ベイ エリアの最大3台のSCSIデバイスをサポートします（UATAモデルにはSCSIケーブルが付属していません）。



ターミネータ プラグ付き5デバイス用SCSIケーブル



お使いのコンピュータに付属のケーブルは、図のケーブル（5デバイス用ケーブル）と異なる場合があります。Narrow SCSIデバイスを取り付ける場合、68ピン-50ピンSCSIアダプタが必要です。

オプションのSCSIデバイスの取り付けについて詳しくは、デバイスのオプション キットに付属のマニュアルを参照してください。

## SCSIデバイスと[SCSISelect]の使用

SCSIホスト アダプタには、このホスト アダプタを設定したり、SCSIディスク ユーティリティを実行したりするための[SCSISelect]ユーティリティが搭載されています。次の手順で、[SCSISelect]ユーティリティを実行します。

- POSTメッセージを有効に設定：POST中に "Press <Ctrl><A> for SCSISelect Utility" というメッセージが表示されたら、[Ctrl]+[A]キーを押します。
- POSTメッセージを無効に設定：HP のロゴ画面が表示されたら、任意のキーを押してこの画面を終了します。画面が終了したらすぐに[Ctrl]+[A]キーを押して、[SCSISelect] ユーティリティを実行します。

次のオプションがあるメニューが表示されます。

- Configure/View Host Adapter Settings (ホスト アダプタの設定値のコンフィギュレーション/表示)
  - ☐ SCSI Bus Interface Definition (SCSIバス インタフェース定義)
    - ◆ Host Adapter SCSI ID (ホスト アダプタのSCSI ID)
    - ◆ SCSI Parity Checking (SCSIパリティ チェック)
    - ◆ Host Adapter SCSI Termination (ホスト アダプタのSCSIターミネート)
  - ☐ Additional Options (その他のオプション)
    - ◆ Boot Device Options (ブートデバイス オプション)
    - ◆ SCSI Device Configuration (SCSIデバイス コンフィギュレーション)
    - ◆ Advanced Configuration Options (拡張コンフィギュレーション オプション)
- SCSI Disk Utilities (ディスク ユーティリティ)

すべてのSCSIデバイスとSCSI ID番号の一覧



コンピュータ起動時のPOSTメッセージの有効 (Enable) /無効 (Disable) の設定に関しては、Documentation Library CDに収録されている『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。



## 低騒音ドライブのオプションの選択



低騒音ドライブ（Quiet Drive）はオプションの機能であり、お使いのコンピュータでサポートされていない場合もあります。

---

低騒音ドライブがサポートされているコンピュータ、または低騒音ドライブを取り付けたコンピュータをお使いの場合は、低騒音モードまたは最大性能モード（デフォルト）で動作するようにドライブをコンフィギュレーションできます。ドライブがアイドル状態のときは、低騒音ドライブによって騒音が通常のドライブより約4dB（デシベル）低く抑えられます。低騒音モードで動作するようにコンフィギュレーションすると、低騒音ドライブによるデータの読み書きで生じる騒音は、通常のドライブより約7dB低く抑えられます。



低騒音（Quiet）モードで動作するようにコンフィギュレーションした場合、ドライブは最大のパフォーマンス レベルで動作しません。ドライブのパフォーマンス レベルを最大にしたい場合は、最大性能（Performance）モードで動作するようにドライブを設定します。

---

お使いのコンピュータに低騒音ドライブが取り付けられているかどうかを調べたり、コンピュータを低騒音モードに設定したりするには、以下の手順に従ってください。

1. コンピュータの電源を入れるか、または再起動します。Windows の場合は、[スタート]→[シャットダウン]→[コンピュータの再起動]→[OK]の順に選択します。
  2. 画面の右下の隅に[F10 = Setup]メッセージが表示されたら、[F10]キーを押します。
- 



メッセージが表示されている間に[F10]キーを押さなかった場合は、コンピュータを再起動してユーティリティを実行してください。

---

3. 一覧から表示言語を選択し、[Enter]キーを押します。
4. [コンピュータ セットアップ ユーティリティ]メニューに5つの選択項目が表示されます。矢印キーまたは[Tab]キーを使用して、[ストレージ]→[デバイス構成]の順に選択します。
5. デバイスの一覧からドライブを選択し、[Enter]キーを押します。

6. [低騒音ドライブ]→[低騒音]の順に選択します（工場出荷時は[最大性能]に設定されています）。



[低騒音ドライブ]オプションが表示されない場合は、お使いのコンピュータに低騒音ドライブ（Quiet Drive）が取り付けられていません。

---

7. 設定の変更を適用して保存するには、[File]（ファイル）→[Save Changes]（変更を保存して終了）の順に選択します。

---

## RTCバッテリーの交換

お使いのコンピュータに付属のバッテリーは、リアルタイム クロック (RTC) に電力を供給するためのもので、約3年間使用できます。RTCバッテリーを交換するときは、コンピュータに最初に取り付けられていたバッテリーと同等のバッテリーを使用してください。コンピュータに付属しているバッテリーは、3V のボタン型リチウム バッテリーです。



リチウム バッテリーの寿命は、コンピュータをACコンセントに接続することで延長できます。リチウム バッテリーは、コンピュータがAC電源に接続されていない場合にのみ使用されます。



**警告:** お使いのコンピュータには、二酸化マンガン リチウム電池が内蔵されています。バッテリーの取り扱いを誤ると火災や破裂などの危険があるので以下のことを守ってください。

- バッテリーを充電しないでください。
- バッテリーを60°Cを超える場所に放置しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、ショートさせたり、火中や水に投げたりしないでください。
- 交換用のバッテリーは、必ずHPが指定したものを使用してください。
- バッテリーを交換するときは、"+"と書かれている面を上にして装着してください。



**注意:** バッテリーを交換する前に、コンピュータのCMOS設定のバックアップを作成してください。バッテリーが取り出されたり交換されるときに、CMOS設定がクリアされます。CMOS設定のバックアップ作成について詳しくは、『トラブルシューティング ガイド』を参照してください。



バッテリーやバッテリー パックは、家庭用ゴミとして捨てないでください。バッテリー パックを処分する場合は、お住まいの地域の地方自治体の条例または規則に従って、公共の収集システム等を利用して廃棄またはリサイクルしてください。



**注意：** 静電気の放電により、コンピュータやオプションの電子部品が破損することがあります。以下の手順を始める前に、アースされた金属面に触れるなどして、身体にたまった静電気を放電してください。

1. スマート カバー ロックがロックされている場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用してロックを外し、スマート カバー センサを無効にします。
2. オペレーティング システムを適切な手順でシャットダウンし、コンピュータと外付けデバイスの電源をすべて切ります。電源コードをACコンセントから抜き、コンピュータのカバーまたはアクセス パネルを取り外します。

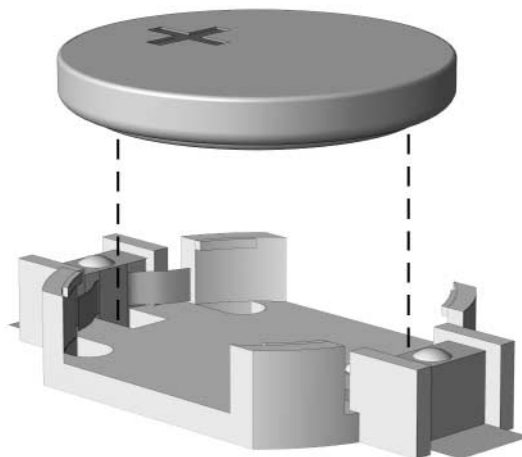


バッテリーを交換する際に、拡張ボードを取り外す必要がある場合があります。

3. システム ボード上のバッテリーおよびバッテリー ホルダの位置を確認します。
4. システム ボード上のバッテリー ホルダのタイプに応じて、以下の手順に従ってバッテリーを交換します。

**タイプ1**

- a. バッテリーをホルダから持ち上げて外します。

**ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ1）**

- b. 交換するバッテリーを"+"と書かれている面を上にして、正しい位置に装着します。

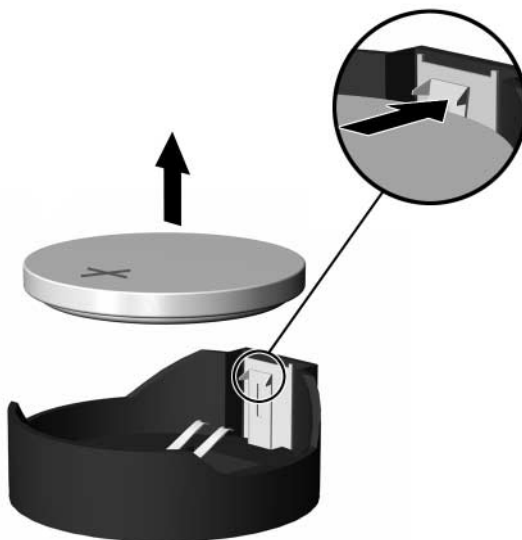
バッテリーホルダは自動的にバッテリーを正しい位置に固定します。



**注意：**正しく動作させるため、バッテリーは"+"と書かれている面を上にして装着してください。この章の、バッテリーの取り扱いについての注意および警告事項に従って作業してください。

## タイプ2

- a. バッテリーをホルダから取り出すために、バッテリーの一方の端の上にある留め金を押し上げます。
- b. バッテリーが持ち上がったら、持ち上げて外します。

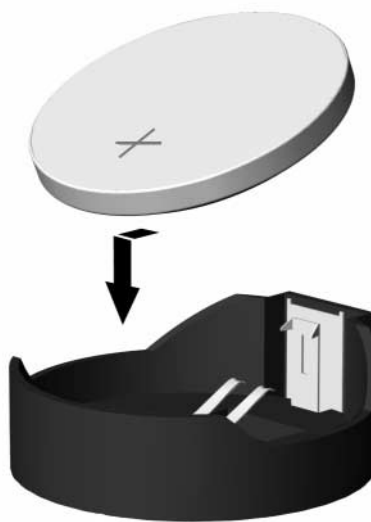


ボタン型バッテリーの取り出し（タイプ2）

- c. 新しいバッテリーを装着するには、交換するバッテリーを"+"と書かれている面を上にして、ホルダにスライドさせて装着します。バッテリーの一方の端が留め具の下に収まるまで、もう一方の端を押し下げます。



**注意：**正しく動作させるため、バッテリーは"+"と書かれている面を上にして装着してください。この章の、バッテリーの取り扱いについての注意および警告事項に従って作業してください。



#### ボタン型バッテリーの交換（タイプ2）



バッテリーを交換したら、以下の手順を実行して交換作業を終えます。

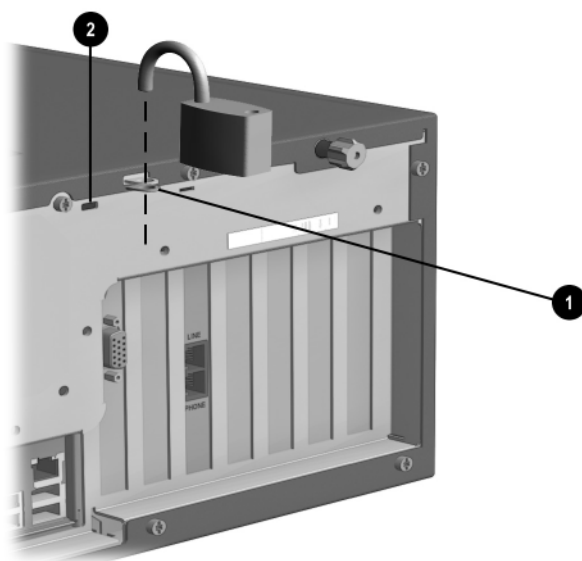
5. コンピュータのカバーまたはアクセス パネルを、元のとおりに取り付けます。
6. 電源ケーブルを元のとおりに接続し、コンピュータの電源を入れます。
7. コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して、日付と時刻、パスワード、およびその他の必要なシステム セットアップを設定しなします。詳しくは、『コンピュータ セットアップ (F10) ユーティリティ ガイド』を参照してください。

スマート カバー ロックを通常どおりにロックする場合は、コンピュータ セットアップ ユーティリティを使用して再ロックし、スマート カバー センサを有効にします。

## セキュリティ ロック

### セキュリティ ロックの取り付け

お使いのワークステーションは、内部コンポーネントへのアクセスを制御するために、別売の錠**①**を取り付けられる設計になっています。また、ケーブルロック スロットも装備しています**②**。別売のケーブルロックを使用すると、ケーブルロック スロットを使ってワークステーションを固定物に固定することができます。



ワークステーションの固定



---

## 静電気対策

人間の指など、導電体からの静電気の放電によって、システム ボードなどのデバイスが損傷したり、耐用年数が短くなることがあります。

### 静電気による損傷の防止

静電気による損傷を防ぐには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ペン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

## アースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているワークステーションまたはコンピュータのシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1M\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドは肌に密着させてください。
- 立って作業する場合には、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合には、両足にアースバンドを付けます。
- 作業用具は磁気を帯びていないものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットが付いた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切にアースを行うための器具がない場合は、HP製品販売店またはHPのサポート窓口にお問い合わせください。



---

静電気について詳しくは、HPのサポート窓口にお問い合わせください。

---

---

## ワークステーションの手入れと運搬時の注意

### ワークステーションの手入れ

ワークステーションとモニタが安定して動作するよう、以下のことを守ってください。

- ワークステーションは、机のようなしっかりとした水平なところに設置してください。また、通気が確保されるよう、ワークステーションの背面とモニタの上部に、少なくとも7～8cmの空間を確保してください。
- ワークステーションのカバーやサイド パネルを取り外したまま使用しないでください。
- 内部への通気が悪くなるので、絶対にワークステーションの正面にある通気孔をふさがないでください。キーボードをデスクトップ構成の本体のフロント パネルに立てかけることも、おやめください。
- 湿度の高い所や、直射日光の当たる場所、または極端に温度が高い場所や低い場所には置かないでください。ワークステーションを使用する際に推奨される温度範囲と湿度範囲については、このガイドの「付録A 仕様」を参照してください。
- ワークステーション本体やキーボードに液体をこぼさないでください。
- モニタ上部の通気孔は、絶対にふさがないでください。
- 以下の項目については、必ずワークステーションの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてから行ってください。
  - ワークステーションやモニタの外側、キーボードの表面が汚れたら、水で湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、けばださない柔らかい布で拭いて乾かしてください。洗剤などを使用すると、変色や変質の原因となります。
  - ワークステーションの正面と背面の通気孔やモニタ上部の通気孔は、ときどき掃除してください。糸くずなどの異物によって通気孔がふさがれると、内部への通気が悪くなり、故障の原因となります。

## CD-ROMドライブの使用上の注意

CD-ROMドライブの操作や手入れは、次の項目に注意して行ってください。

### 操作および取り扱いに関する注意

- 操作中はドライブを動かさないでください。データ読み取り中にドライブを動かすと誤動作することがあります。
- 急に温度が変化するとドライブ内に結露することがあるので気をつけてください。ドライブの電源が入っているときに急な温度変化があったときは、最低1時間待ってから電源を切ってください。すぐに操作すると、誤動作が起きることがあります。
- ドライブは高温多湿、直射日光があたる所、機械の振動がある所には置かないでください。

### クリーニングの際の注意

- フロントパネルやスイッチ類が汚れたら、水で湿らせた柔らかい布で拭いてください。決して、クリーニング液を直接スプレーしないでください。
- アルコールやベンジンなど、揮発性の液体を使用しないでください。変色や、変質の原因となります。

### 安全にお使いいただくためのご注意

ドライブの中に、異物や液体が入ってしまった場合は、ただちにワークステーションの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いて、HPのサポート窓口にて点検を依頼してください。

## 運搬時の注意

ワークステーションを運搬する場合は、以下のことを守ってください。

1. ハードディスク内のファイルのバックアップをCD、テープ カートリッジ、またはディスクットにとります。バックアップをとったメディアは、保管中または運搬中に、電気や磁気の影響を受けないよう気をつけます。



ハードディスク ドライブは、システムの電源が切れると自動的にロックされます。

2. ディスクット ドライブに入っているディスクットを取り出します。
3. ディスクット ドライブに空のディスクットを挿入して、運搬中のドライブを保護します。データを保存したディスクットや保存する予定のディスクットは使用しないでください。
4. ワークステーションと外部装置の電源を切ります。
5. ACコンセントから電源コードを抜き取り、次にワークステーションからも抜き取ります。
6. 外部装置の電源コードをACコンセントから抜いてから、外部装置からも抜き取ります。



すべてのボードがスロットにしっかりとめ込まれていることを確認します。

7. お買い上げのときにワークステーションが入っていた箱か、同等の箱に保護材を十分に詰め、ワークステーションとキーボードやマウスなどの外部システム装置を入れて梱包します。



運搬中の環境条件については、このガイドの「付録A 仕様」の非動作時の項目を参照してください。

# 索引

<b>C</b>		ケーブル ロック	D-1
CD-ROMドライブ		構成	
インジケータ	1-2	デスクトップ	1-7
取り出しボタン	1-2	ミニタワー	1-10
取り付け	2-15	構成の機能	1-1
<b>D</b>		コネクタ	
DDR DIMM		Ethernet RJ-45	1-3
取り付け	2-7	USB	1-2, 1-3
DDR (ダブル データ レート メモリ)	2-7	キーボード	1-3
DVD-ROMドライブ		シリアル	1-3
取り付け	2-15	電源コード	1-3
<b>S</b>		パラレル	1-3
[SCSISelect]ユーティリティ	B-7	ヘッドフォン	1-2
SCSIコントローラ	B-6	ヘッドフォン/ラインアウト	1-3
SCSIデバイス		マイク	1-2, 1-3
ガイドライン	B-3	マウス	1-3
Smart Cover FailSafeキー	2-2	モニタ	1-3
<b>U</b>		ラインイン オーディオ	1-3
USB	1-2, 1-3	コンピュータのアクセス パネル	
<b>W</b>		取り外し	2-4
Windowsロゴ キー	1-4, 1-5	コンポーネント	
<b>あ</b>		イージー アクセス キーボード	1-4
アクセス パネル、取り外し	2-4	キーボード	1-4
イージー アクセス キーボード	1-4	リア パネル	1-3, 1-11
運搬時の注意	F-1	<b>さ</b>	
奥行き	A-1	重量	A-1
<b>か</b>		仕様	A-1
拡張カード、取り付けまたは取り外し	2-10	シリアル コネクタ	1-3
拡張スロット カバー、取り外し	2-10	シリアル番号	1-7
キーボード	1-4	スマート カバー ロック	2-2
イージー アクセス キーボードのボタン	1-5	静電気対策	E-1
コネクタ	1-3	セキュリティ	
使用	1-4	スマート カバー ロック	2-2
機能	1-1	ソフトウェア	
		イージー アクセス	1-5

た		ドライブ ベイ カバー	2-6
高さ	A-1	フロント パネル	2-5
ディस्कエット ドライブ		は	
ランプ	1-2	ハードディスク ドライブ	
低騒音ドライブ	B-8	取り付け	2-19
電源		取り付けの手順	B-1
ボタン	1-2	バッテリー	
ランプ	1-2	交換	C-1
電源コード		幅	A-1
コネクタ	1-3	パラレル コネクタ	1-3
ドライブ ベイ カバー		フロント パネル	
取り外し	2-6	取り外し	2-5
取り付け		ま	
3.5インチ ドライブ	2-17	マイク コネクタ	1-3
CD-ROMドライブ	2-15	メートル式のネジ	2-14
DVD-ROMドライブ	2-15	メモリ	
拡張カード	2-11	DDR	2-7
増設ドライブ	2-14	DIMM	2-9
ハードディスク ドライブ	2-19	図	2-9
取り付け手順	2-1	ら	
取り外し		リア パネルの各部	1-3
拡張カード	2-10, 2-11	わ	
拡張スロット カバー	2-10	ワークステーションの手入れ	F-1
コンピュータのアクセス パネル	2-4		
ドライブ	2-21		